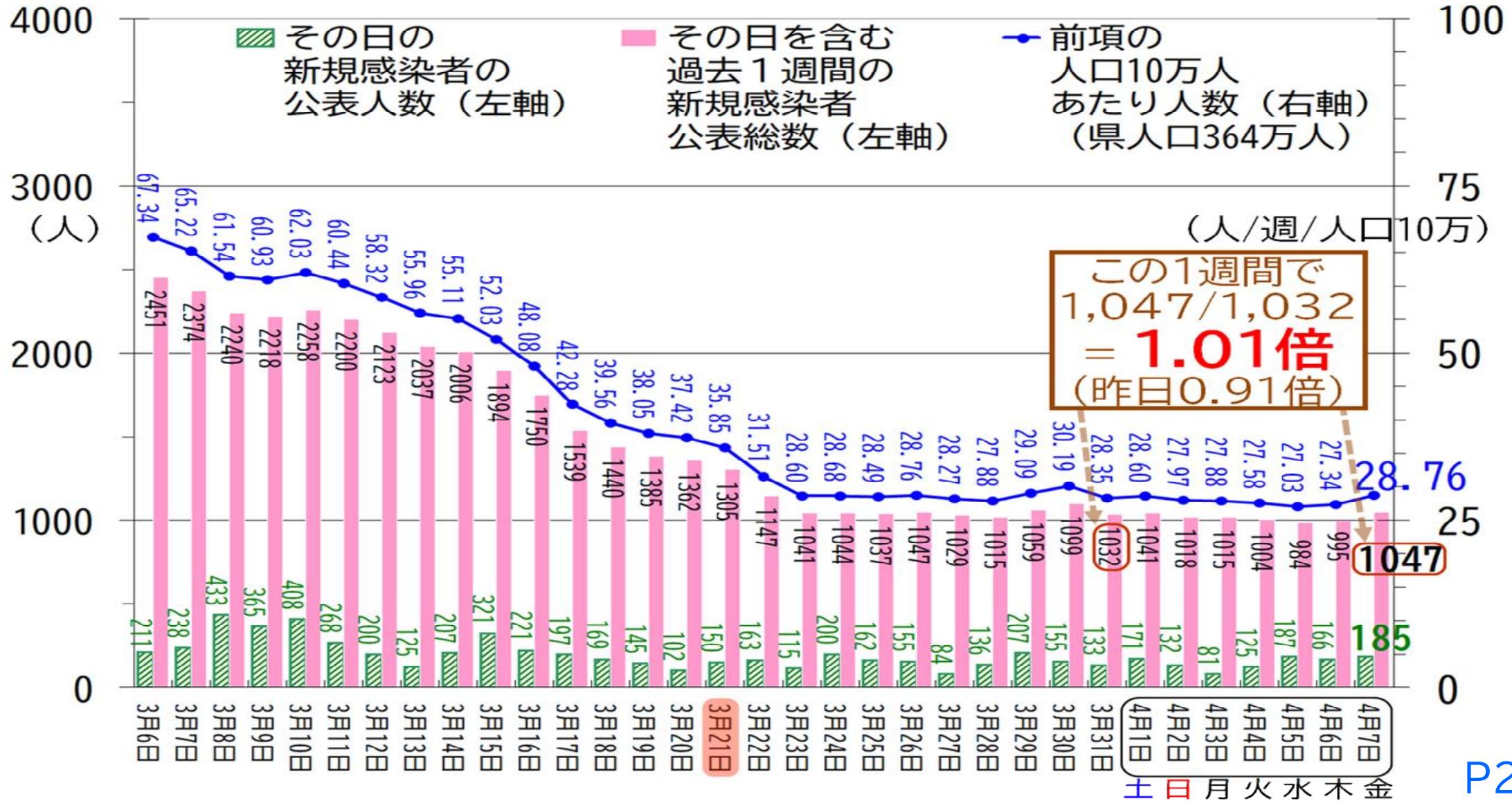


静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2023年4月7日時点)



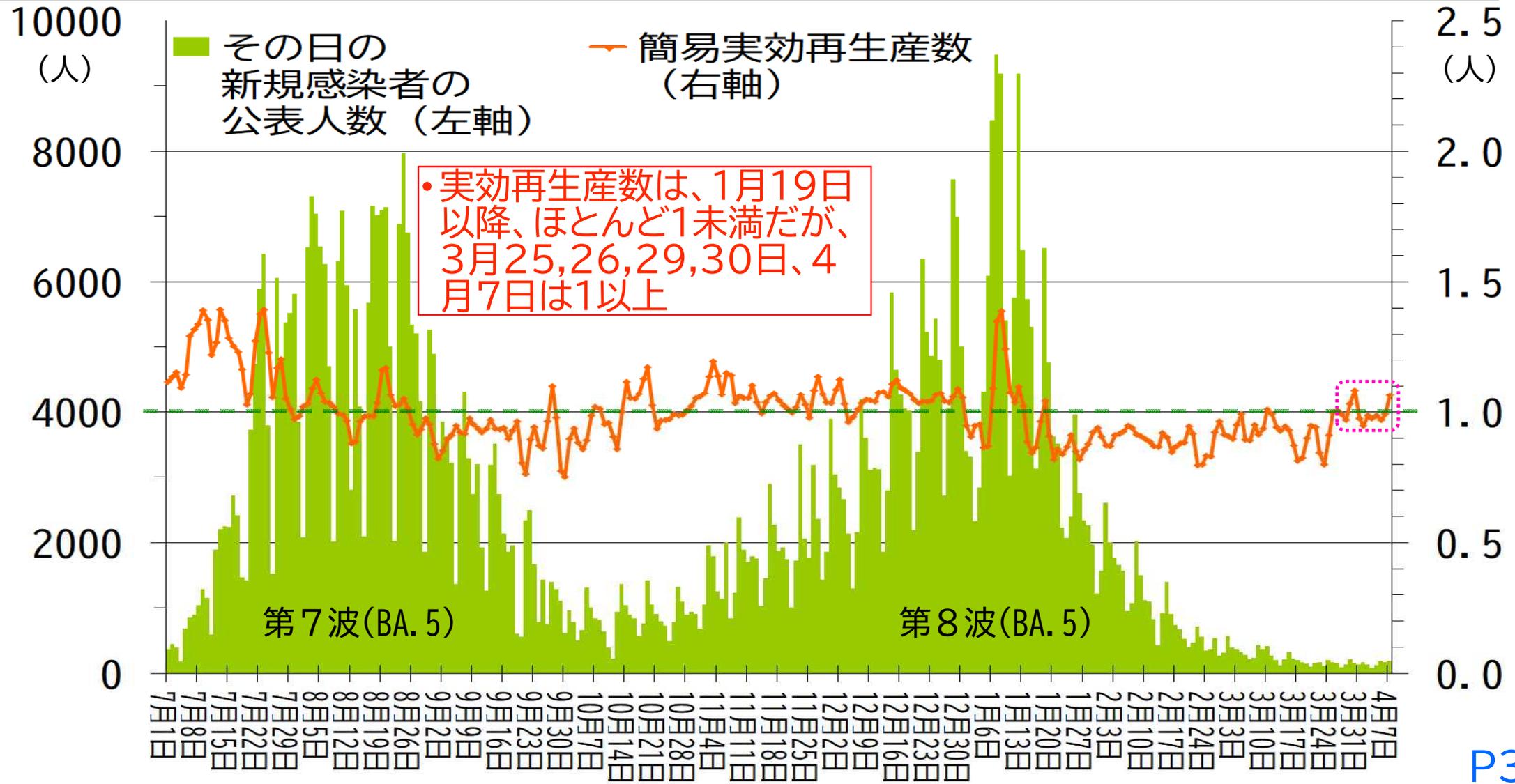
静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

静岡県 直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況 《4/7時点》

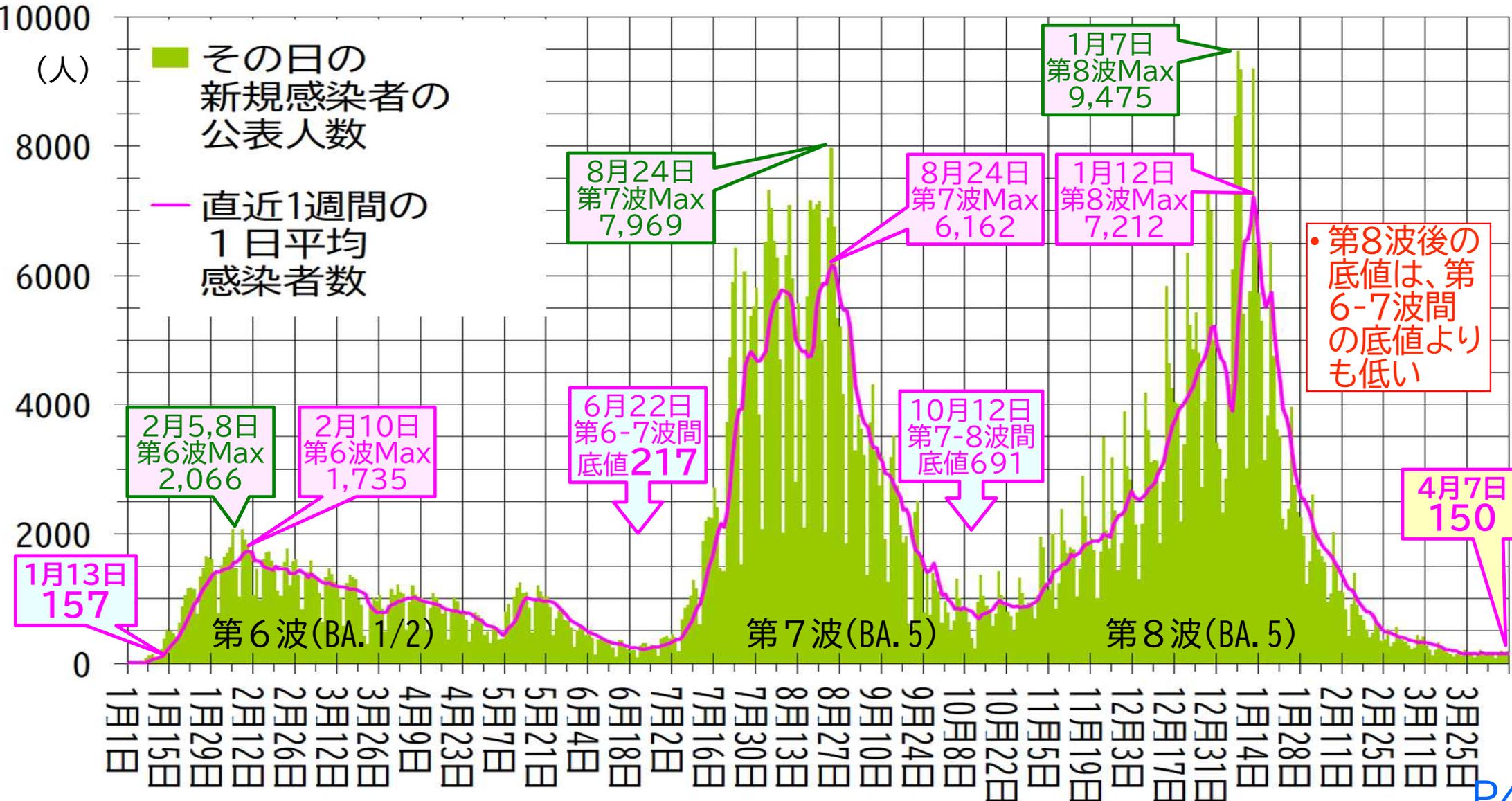


静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数 (2022. 7/1~2023. 4/7)

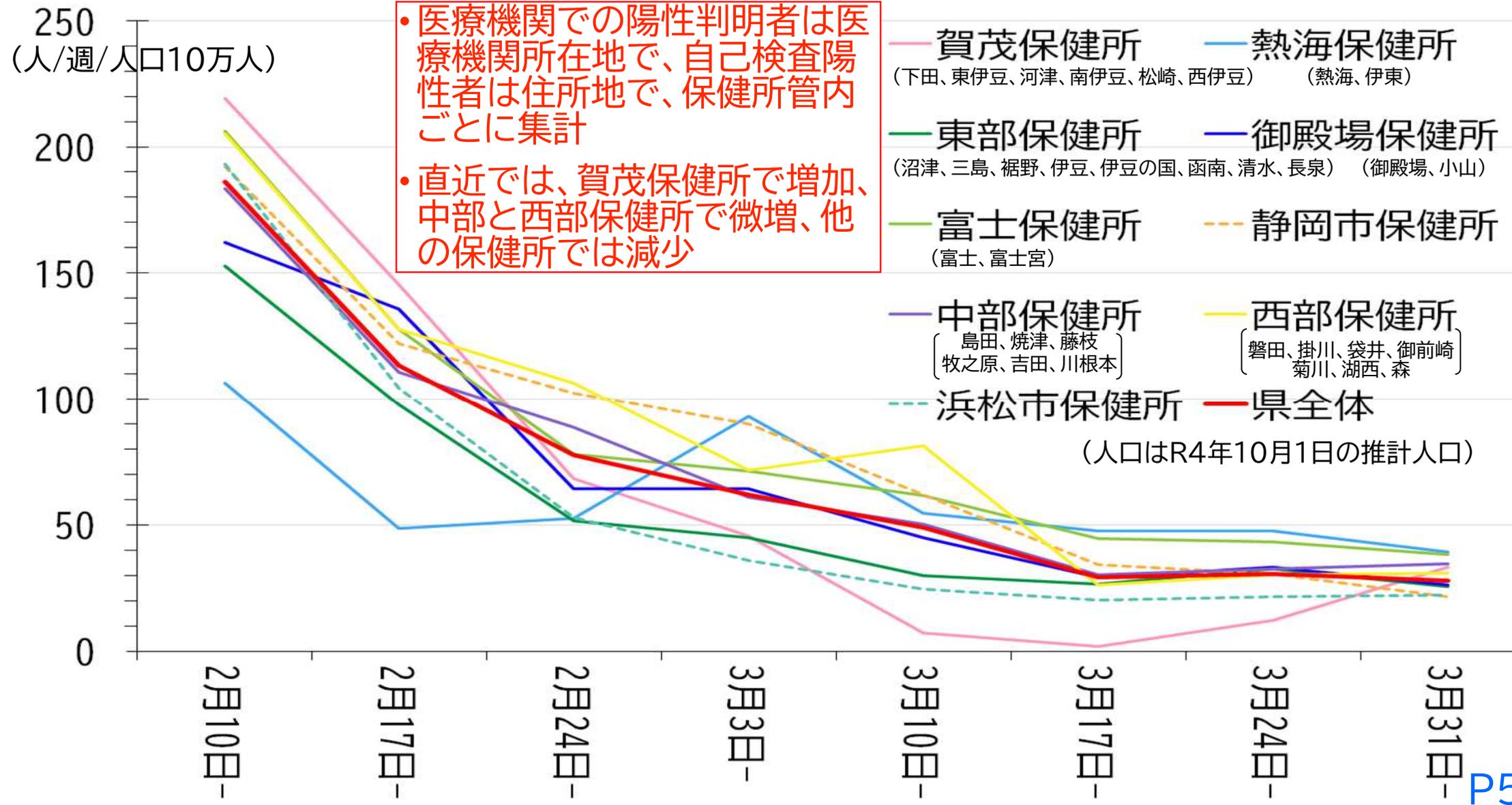
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



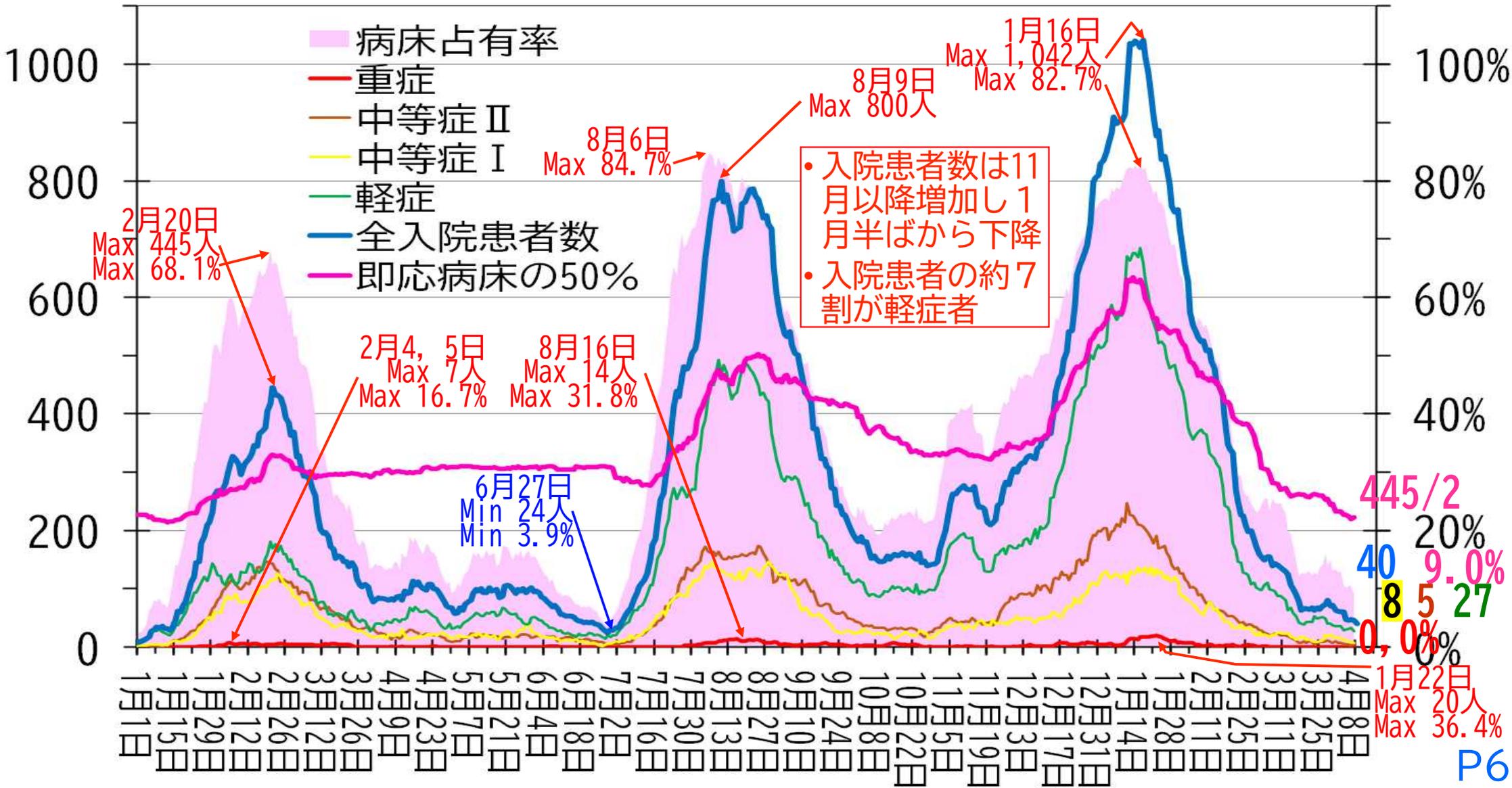
静岡県 第6波以降 オミクロン株感染者の状況 (2022.1/1~2023.4/7)



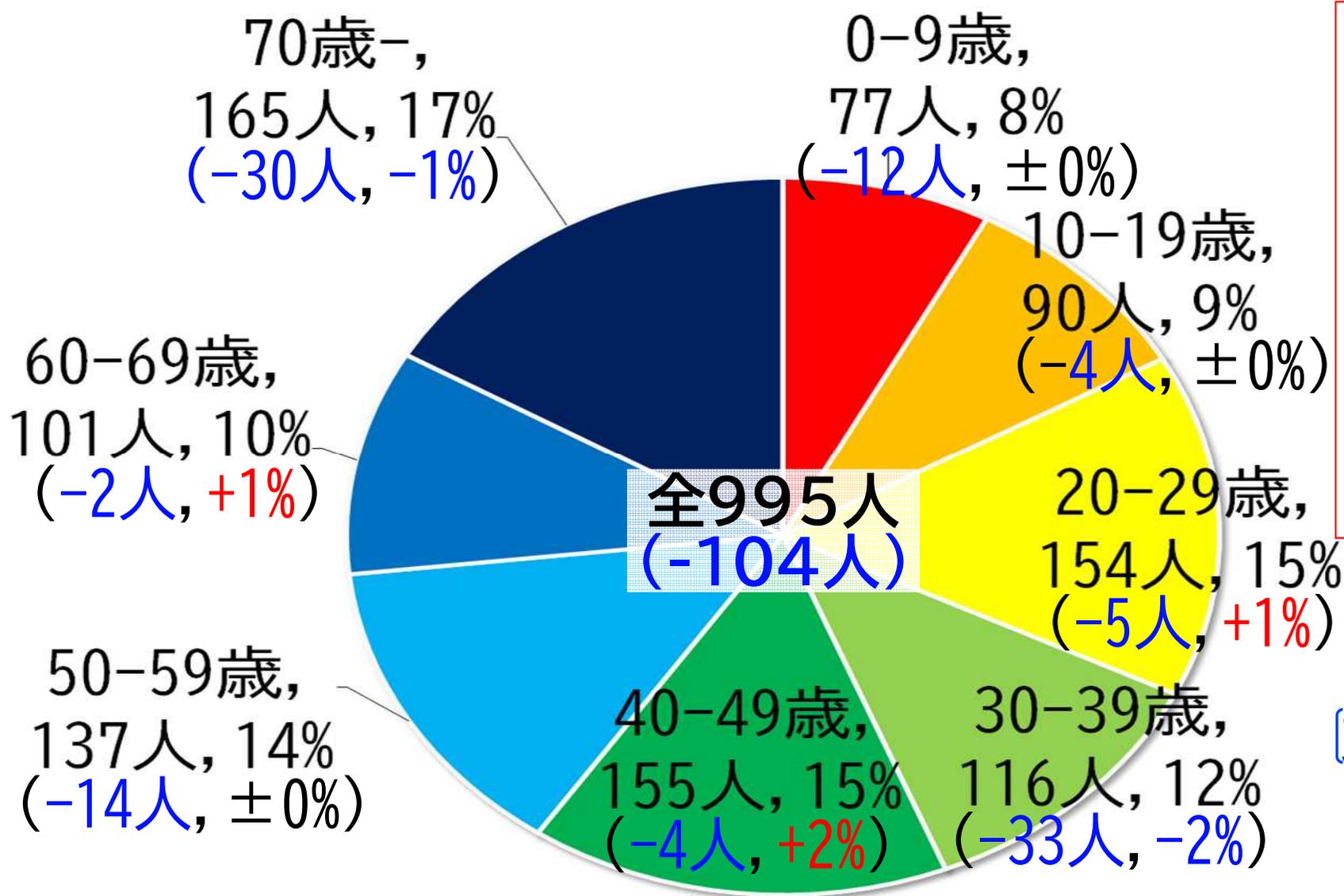
静岡県 保健所管内別 1週間人口10万人あたりコロナ陽性者数 (2022.9/30~2023.4/6)



静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(2022.1/1~2023.4/7)



静岡県直近の年齢別感染者数・割合 (3/31~4/6)



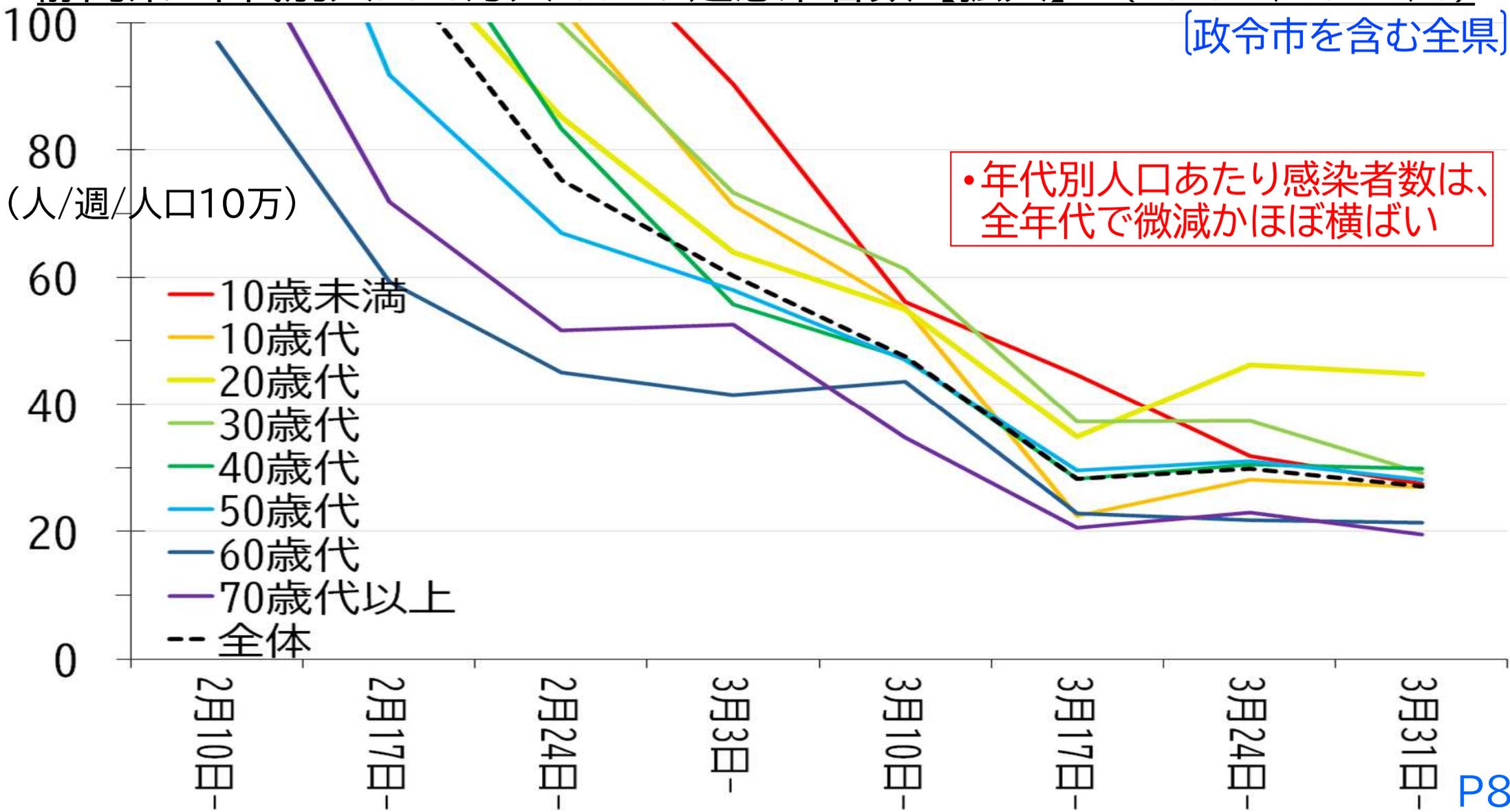
- 70歳以上の割合が最も多く、17%
- 割合が増加したのは、20歳代、40歳代、60歳代
- 人数は全ての年代で減少したが、70歳以上と30歳代で人数の減少が大きい
- 60歳以上は27%で横ばい

(+-〇〇人, +-□%)
は前週との増減

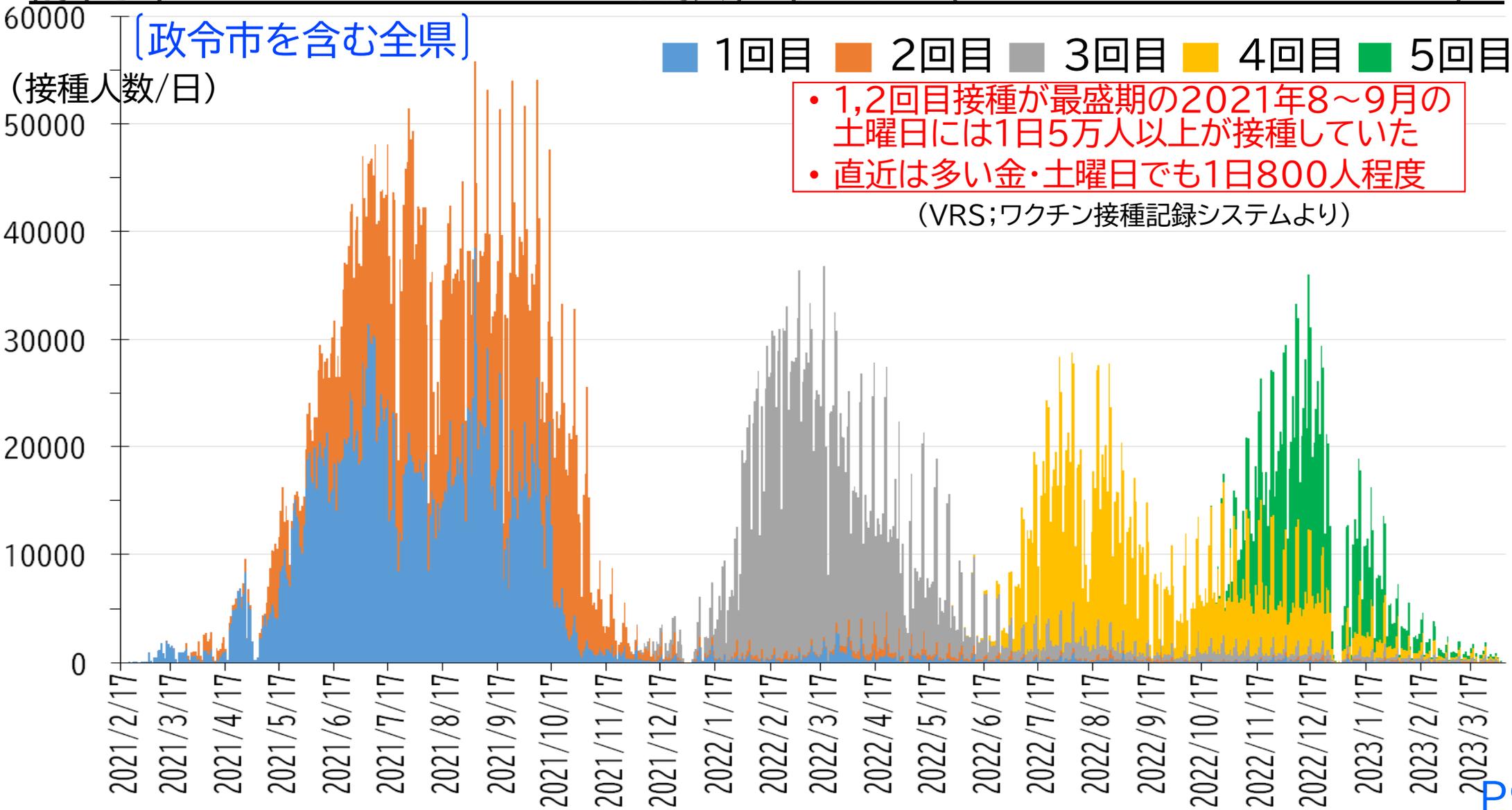
[政令市を含む全県]

静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数【拡大】 (2023.2/10~4/6)

[政令市を含む全県]

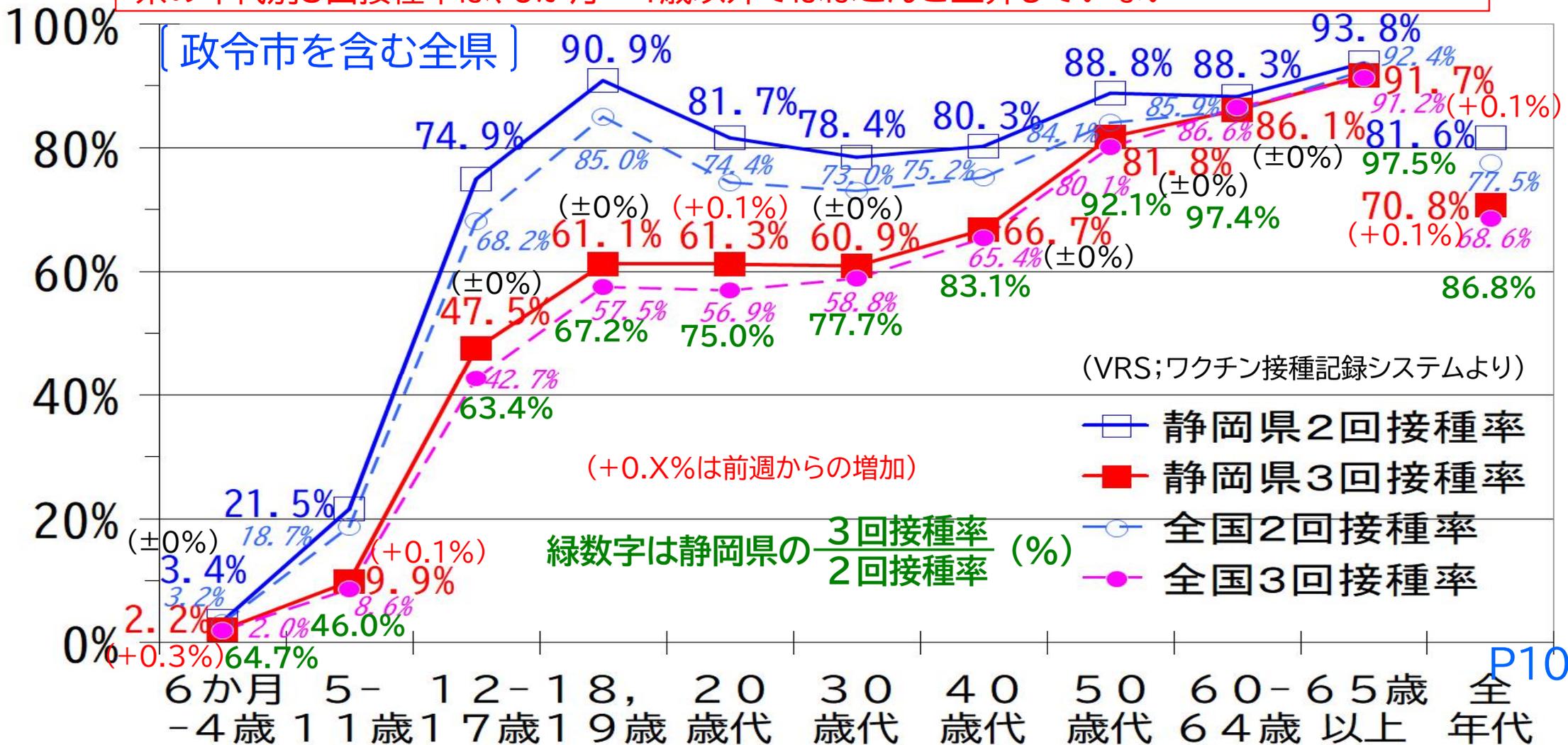


静岡県 コロナワクチン日別接種状況 (2021.2/19~2023.4/3)

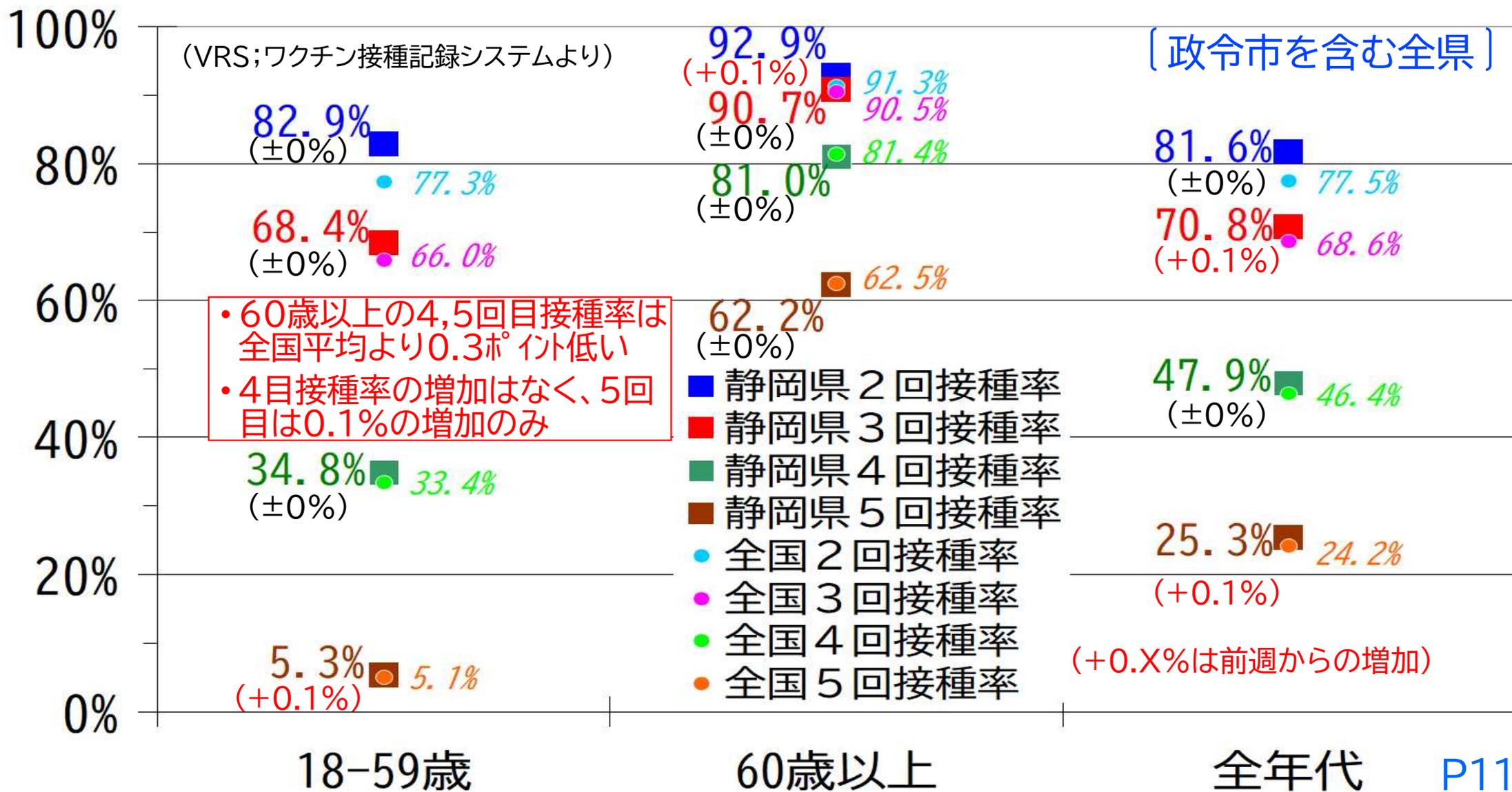


県と国 コロナワクチン2, 3回目年代別接種率 (4/3時点)

・県の3回接種率を全国と比べると、60～64歳を除いて全国より高い(0.2～4.8ポイント高い)
 ・県の年代別3回接種率は、6か月～4歳以外ではほとんど上昇していない

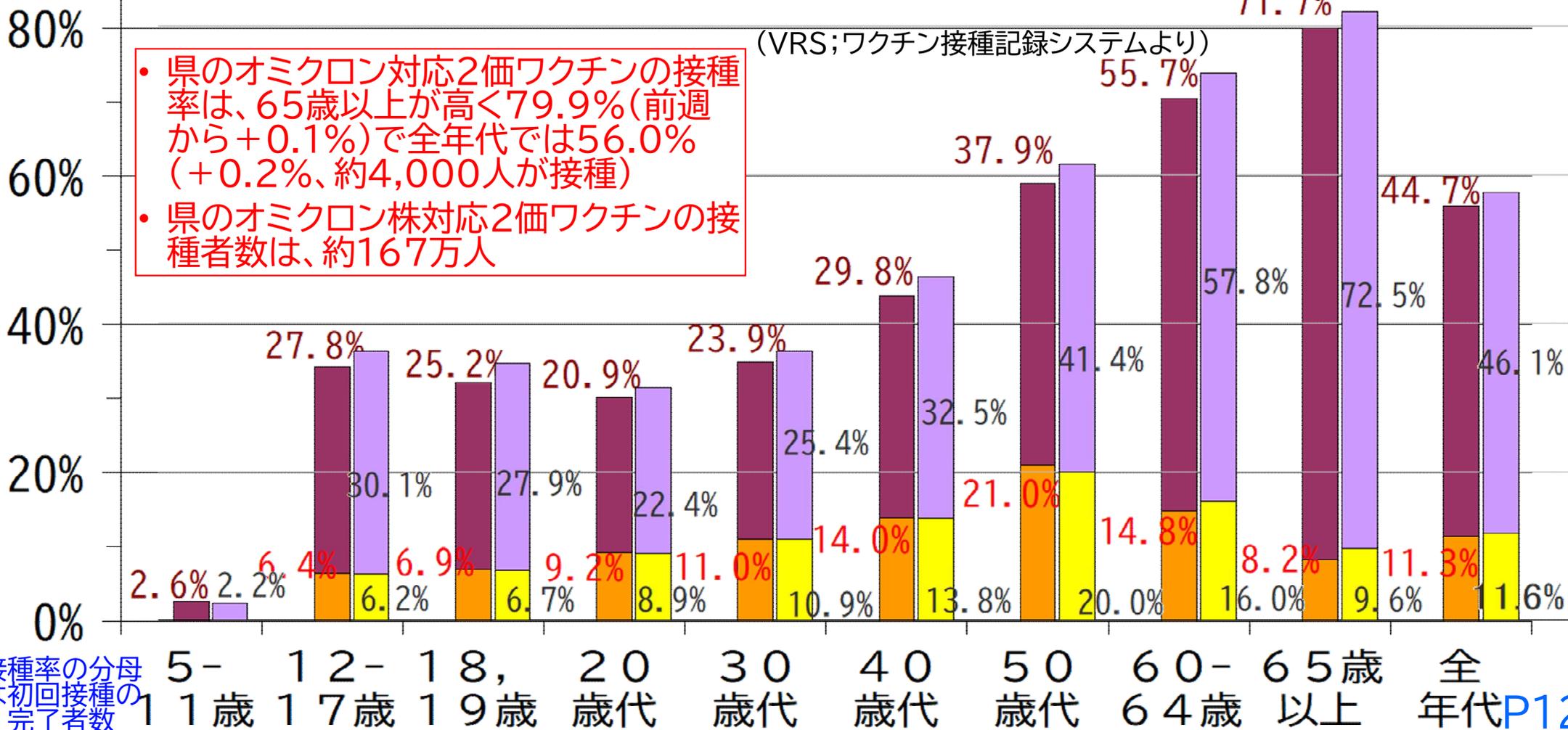


県と国 コロナワクチン2～5回目年代別接種率 (4/3時点)



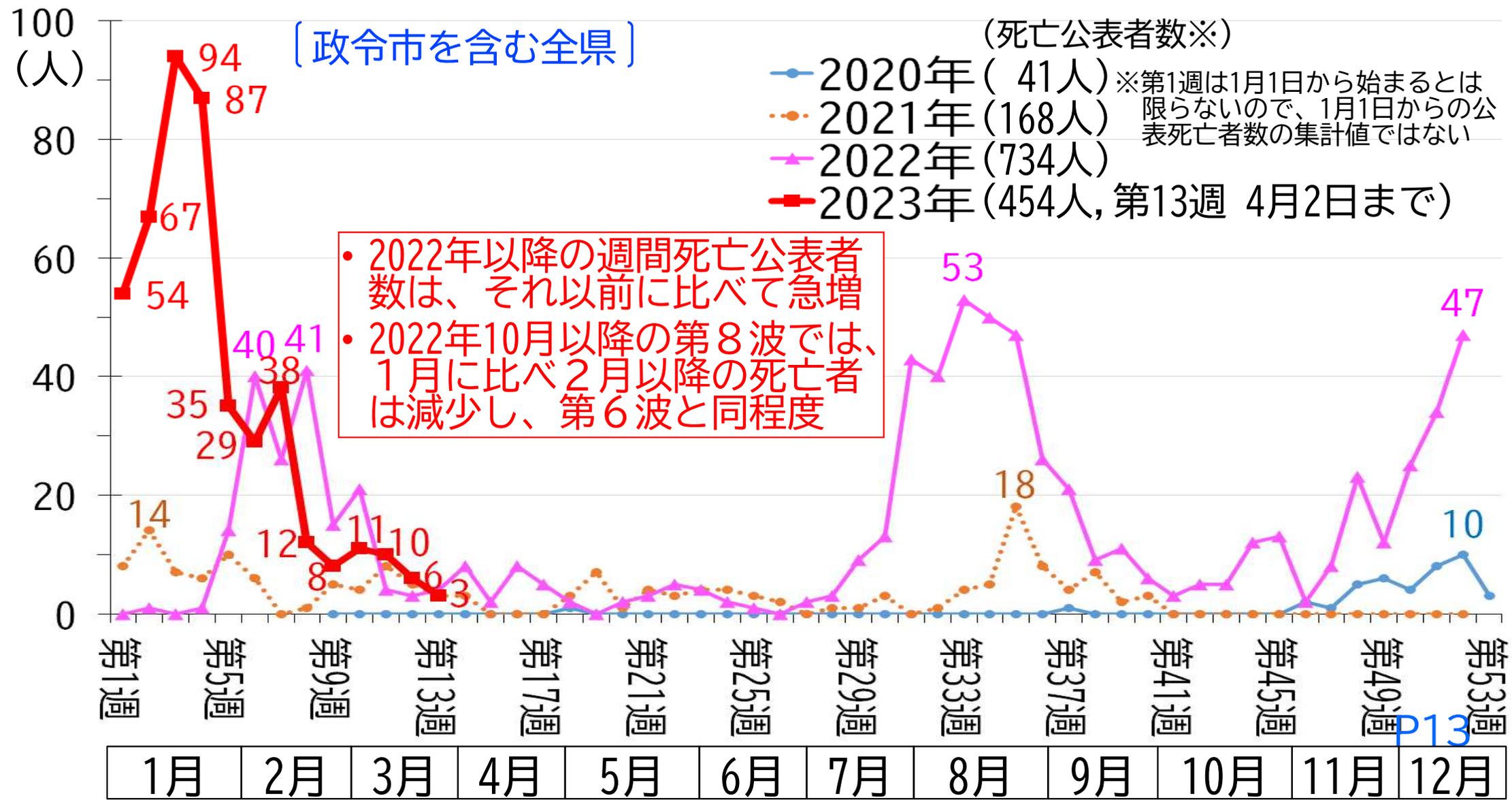
県と国 オミクロン株対応2価ワクチン年代別接種率 (4/3時点)

■ 静岡県BA.1接種率 ■ 静岡県BA.4/5接種率 ■ 全国BA.1接種率 ■ 全国BA.4/5接種率 (政令市を含む全県)

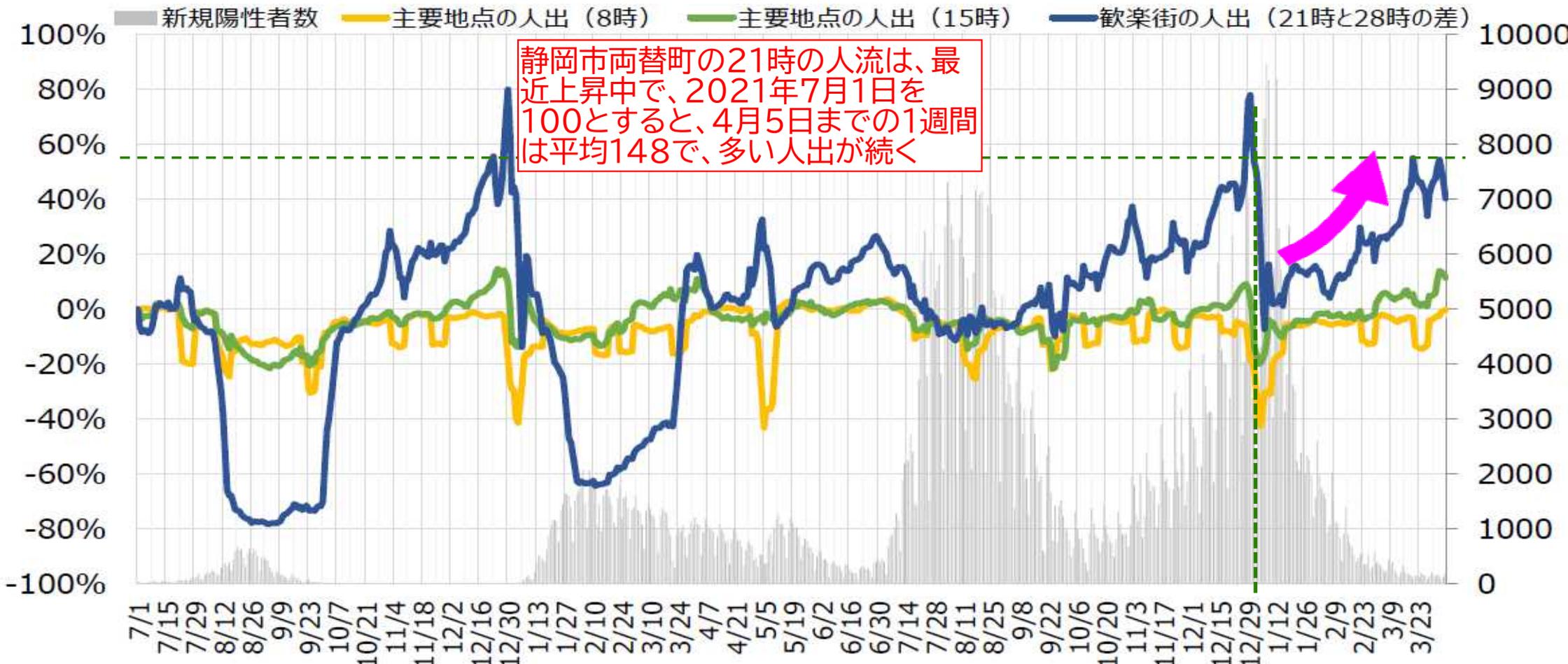


接種率の分母は初回接種の完了者数

静岡県 週ごとに公表された新型コロナ陽性死亡者数(2020.2~2023.4)



静岡市両替町の人流の状況 (4/5時点)



静岡市両替町の21時の人流は、最近上昇中で、2021年7月1日を100とすると、4月5日までの1週間は平均148で、多い人出が続く

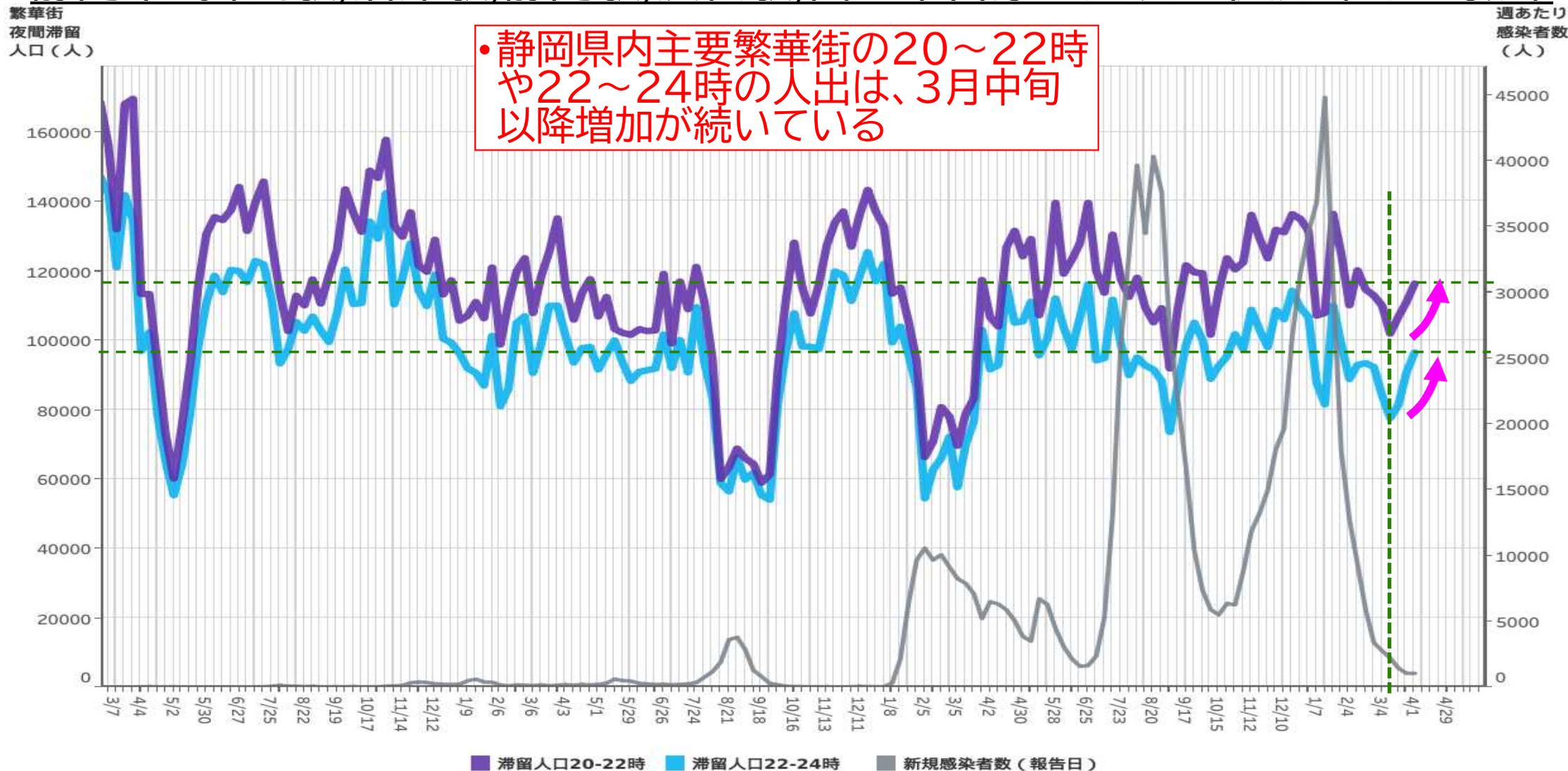
直近の対7月1日比増減率 (4月5日)	8時	0%	15時	11%	21時	40%
---------------------	----	----	-----	-----	-----	-----

※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均 (6月25日～7月1日の平均値) に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

(主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町)

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

静岡県 掛川駅,沼津駅,静岡駅,浜松駅,富士市吉原の人流の状況 (4/1時点)



● 静岡県内主要繁華街の20~22時
 や22~24時の人出は、3月中旬
 以降増加が続いている

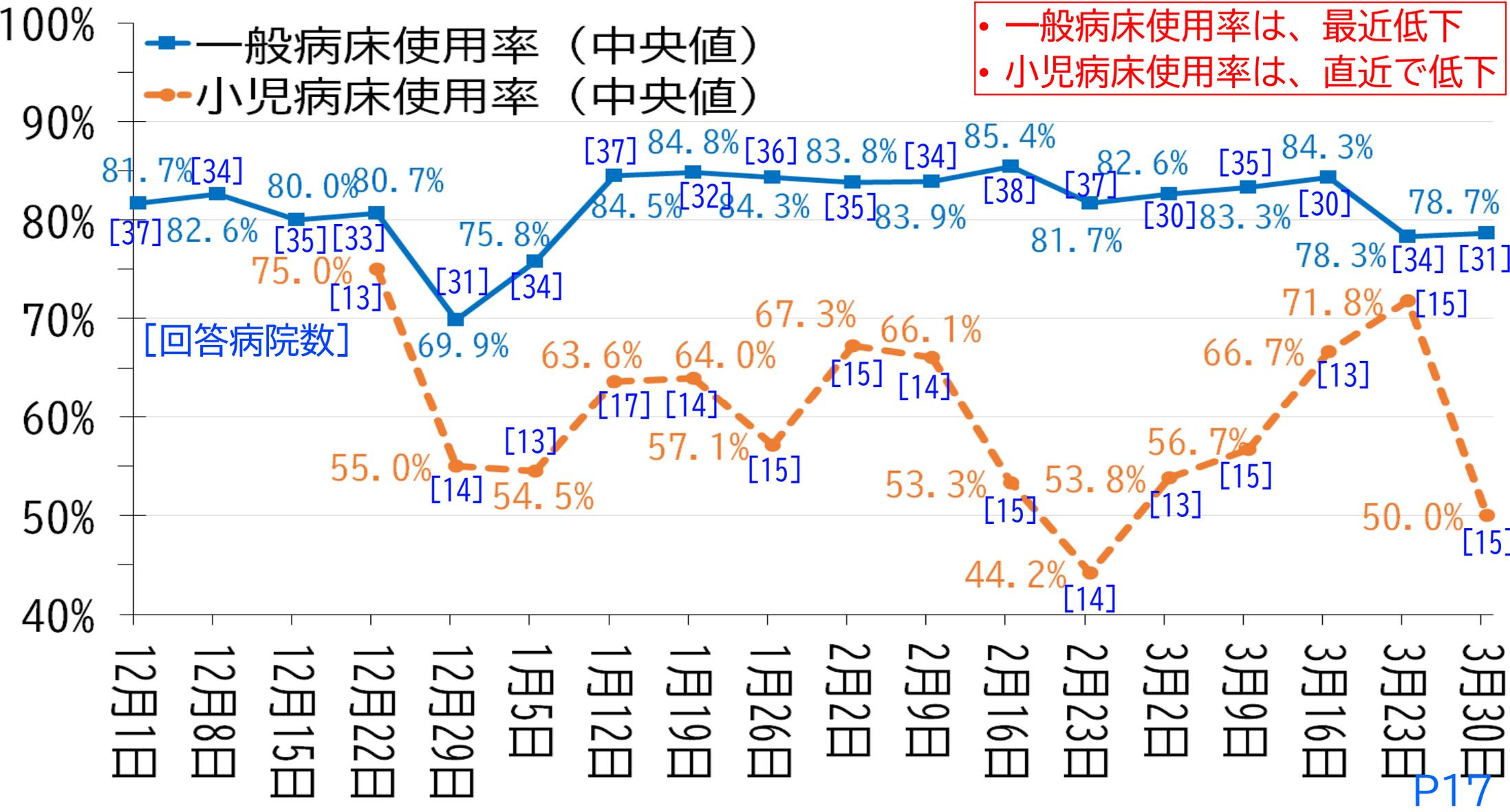
対象都道府県：22 静岡県

対象繁華街：掛川駅・沼津駅南・静岡駅・浜松駅・富士市吉原

都道府県別新規感染者数出典：厚生労働省「新規陽性者数の推移（日別）」 <https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

LocationMind xPop © LocationMind Inc

静岡県 コロナ受入病院の一般病床及び小児病床の使用率推移 (2022.12/1~2023.3/30)

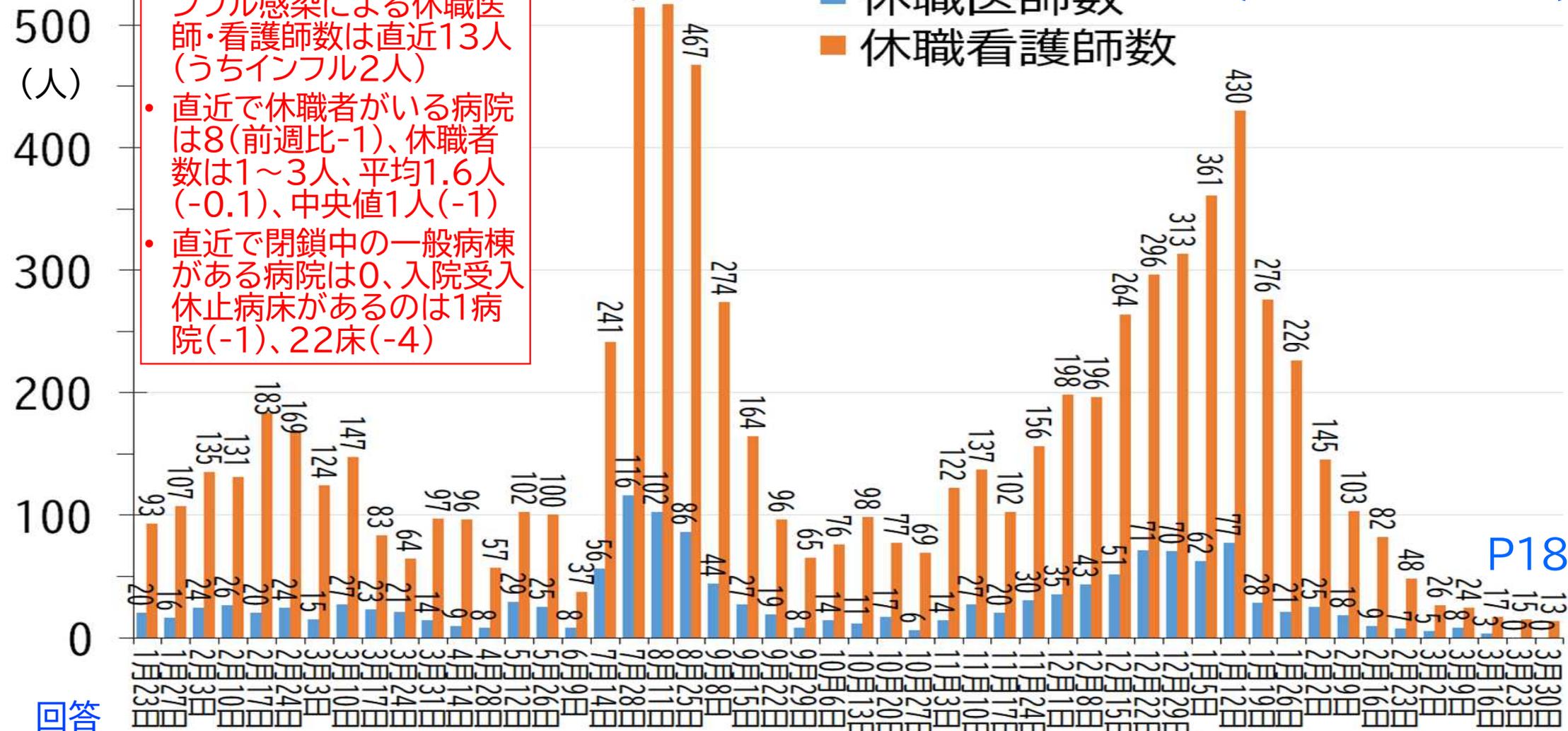


静岡県 コロナ受入病院の休職者の状況 (2022.1/23~2023.3/30)

[政令市を含む全県]

- コロナ感染や濃厚接触、インフルエンザによる休職医師・看護師数は直近13人(うちインフル2人)
- 直近で休職者がいる病院は8(前週比-1)、休職者数は1~3人、平均1.6人(-0.1)、中央値1人(-1)
- 直近で閉鎖中の一般病棟がある病院は0、入院受入休止病床があるのは1病院(-1)、22床(-4)

■ 休職医師数
■ 休職看護師数



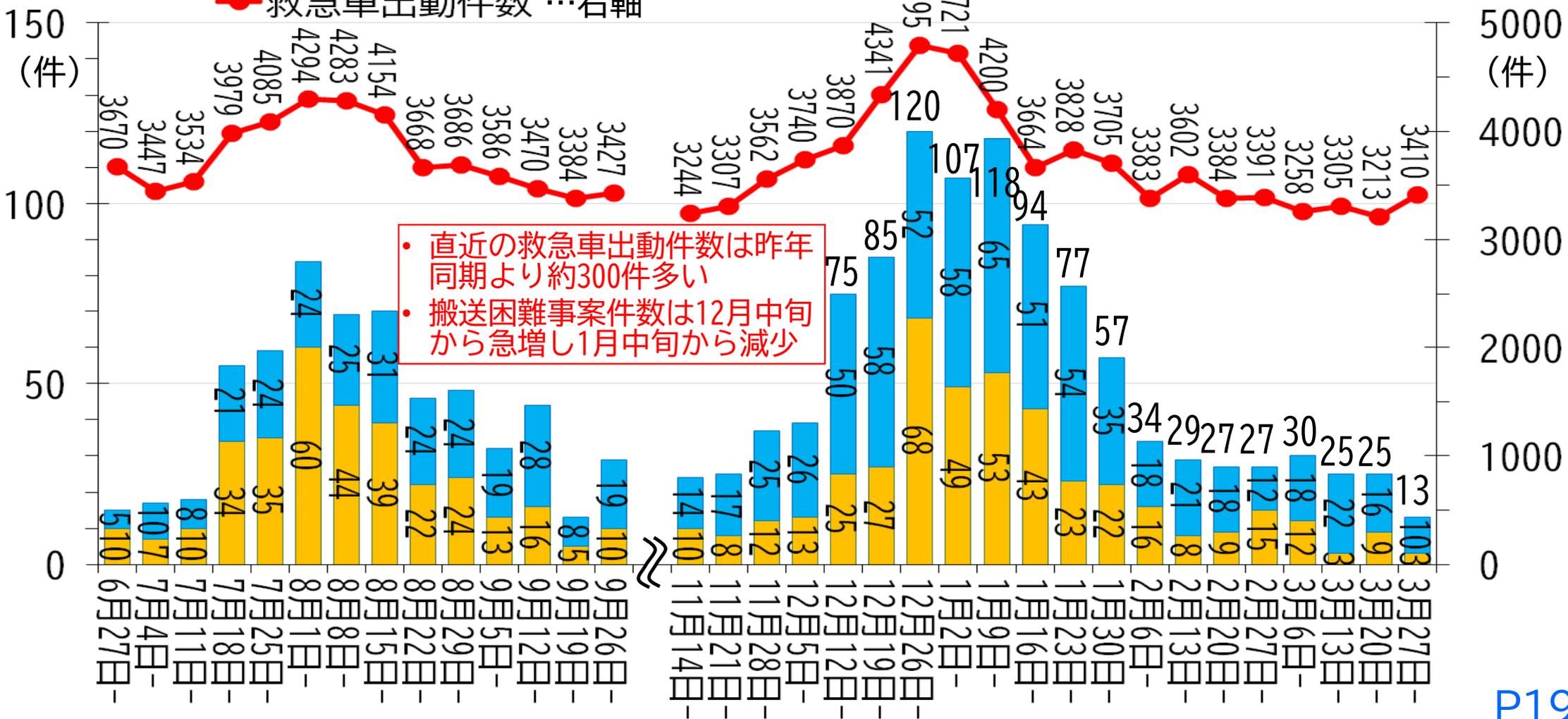
P18

回答病院数 34,34,36,37,35,37,37,41,35,37,41,38,35,37,35,31,36,38,37,34,42,37,33,37,40,33,36,35,39,36,32,37,37,34,36,33,32,34,38,32,37,35,34,38,38,30,35,30,35,30

静岡県 1週間の救急車出動及び搬送困難事案の状況 (2022.6/27~2023.4/2)

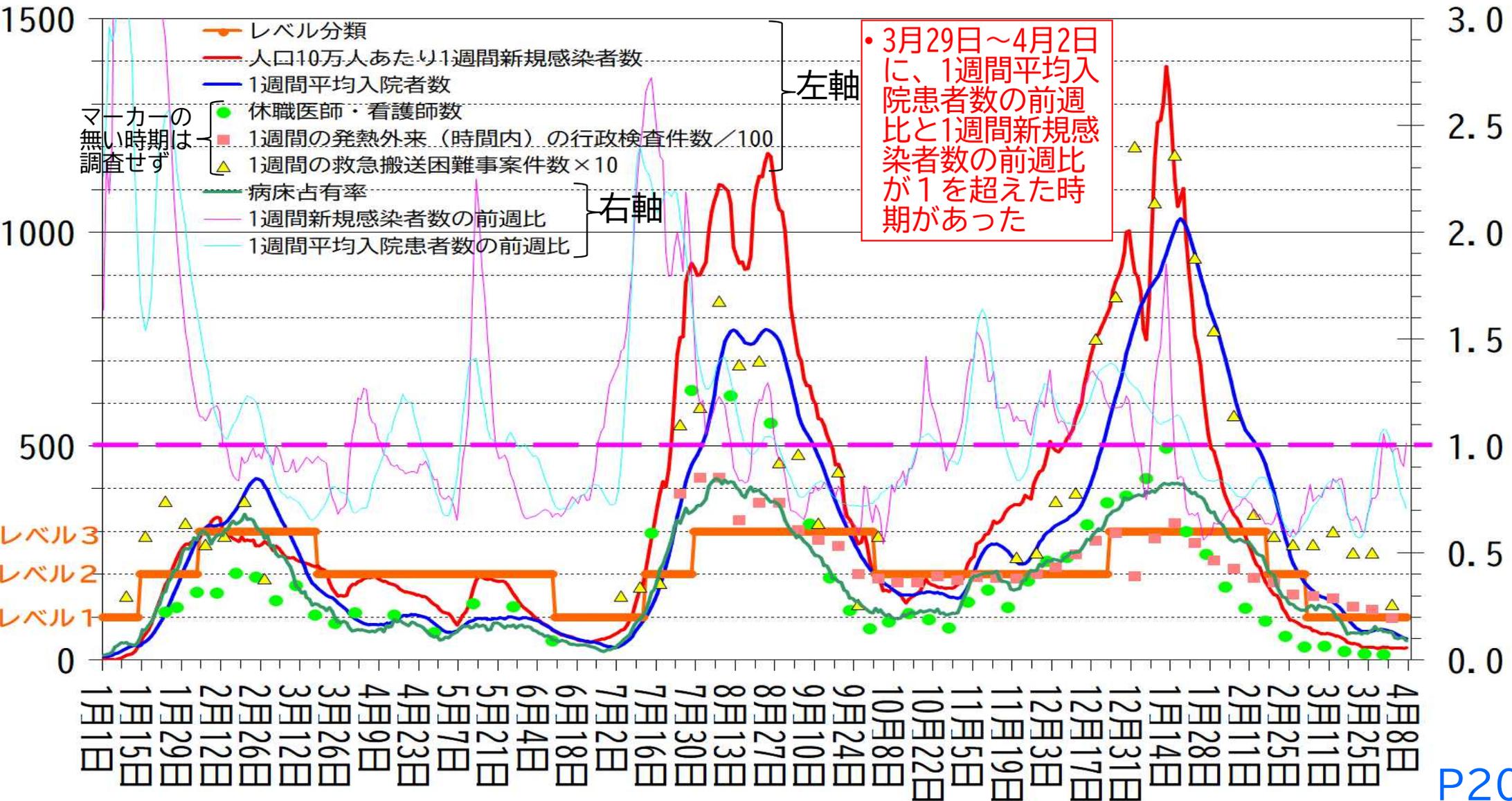
〔政令市を含む全県〕

左軸
■ 救急搬送困難事案件数 (コロナ以外)
■ 救急搬送困難事案件数 (コロナ関連)
● 救急車出動件数 …右軸



直近の救急車出動件数は昨年
 同期より約300件多い
 搬送困難事案件数は12月中旬
 から急増し1月中旬から減少

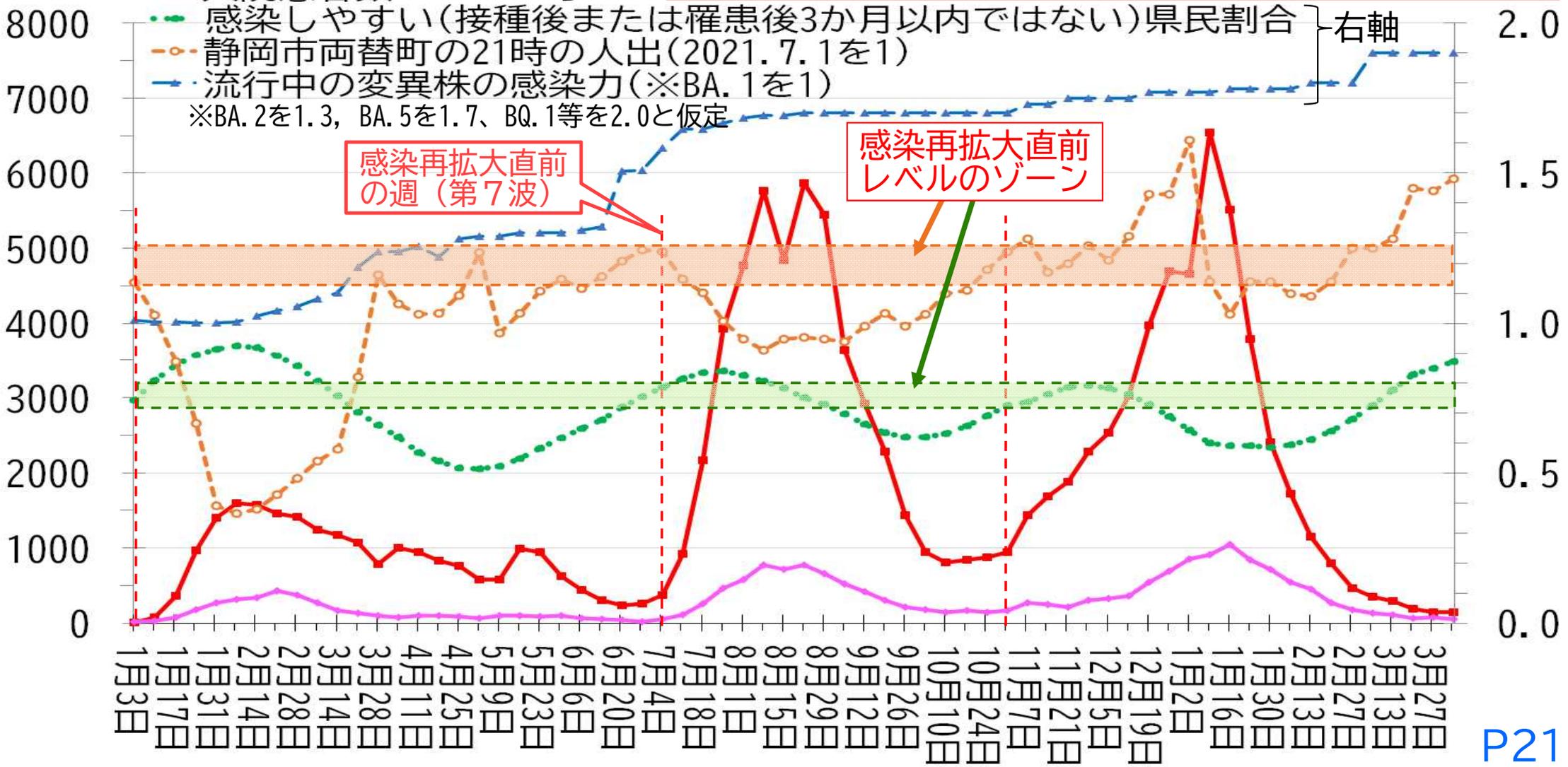
静岡県 感染者・入院者数等指標とレベル分類の推移 (2022.1/1~2023.4/7)



静岡県 感染者・入院者数と感受性県民、人出、流行株感染力の推移 (2022.1/3~2023.4/3)

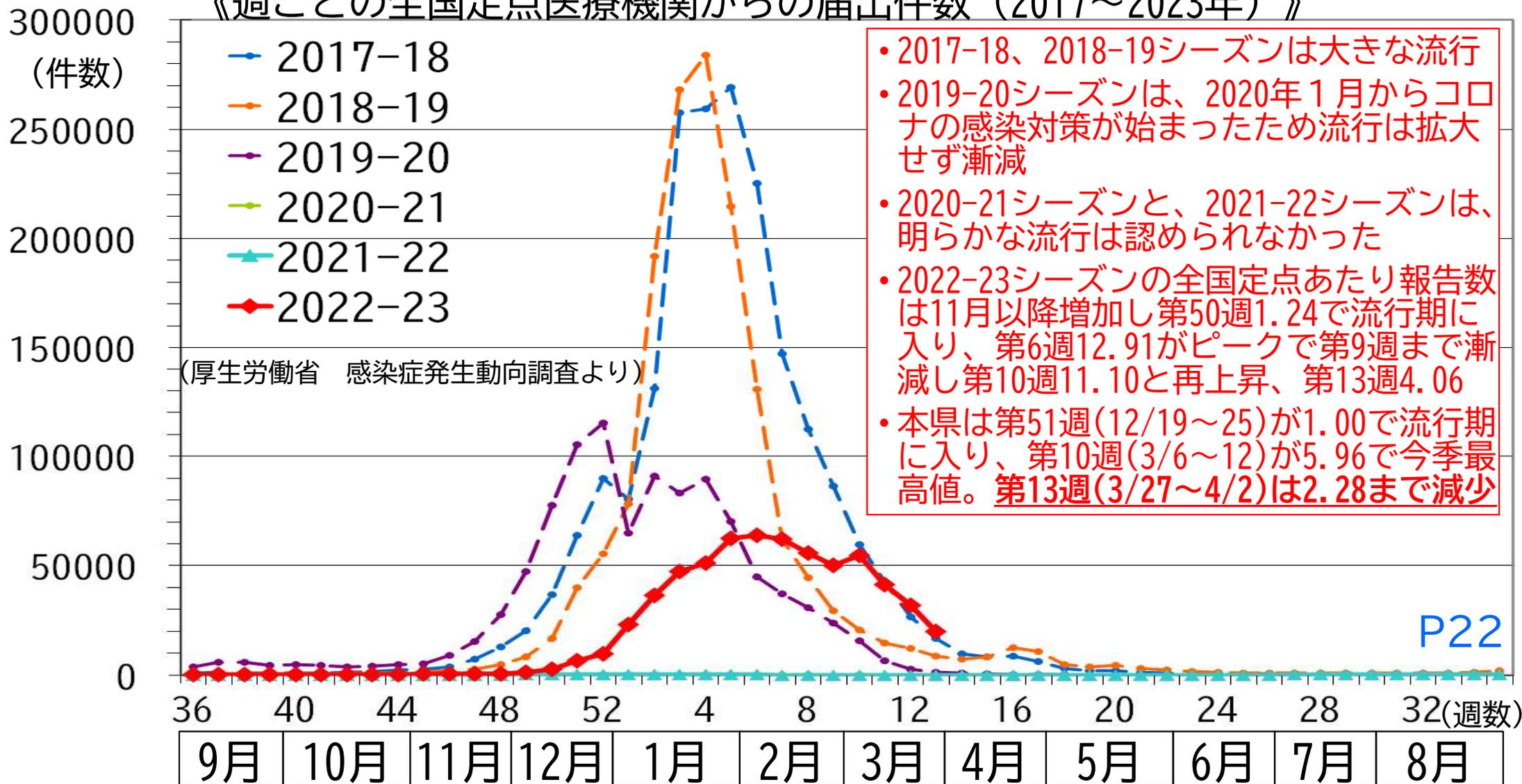
● 感染しやすい県民割合は増加し、人出高止まりし、感染再拡大直前レベルに達しているため、近々感染再拡大が始まる可能性あり

- 1日平均新規感染者数 (左軸)
 - 入院患者数 (左軸)
 - 感染しやすい(接種後または罹患後3か月以内ではない)県民割合 (右軸)
 - 静岡市両替町の21時の人出(2021.7.1を1) (右軸)
 - 流行中の変異株の感染力(※BA.1を1) (右軸)
- ※BA.2を1.3, BA.5を1.7, BQ.1等を2.0と仮定



今季のインフルエンザの流行状況 (3/27~4/2 第13週時点)

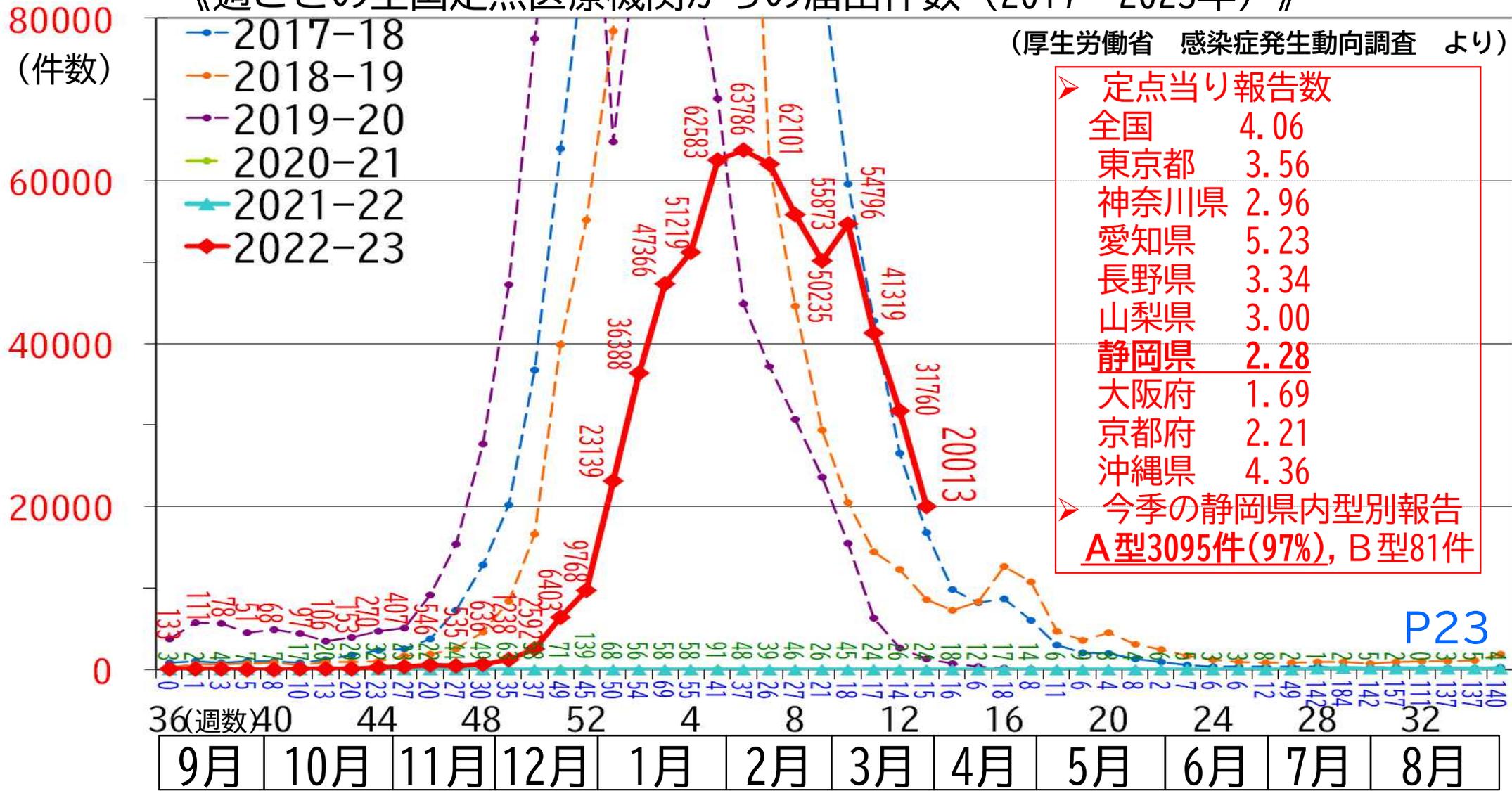
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》



今季のインフルエンザの流行状況 (3/27~4/2 第13週時点) 【拡大】

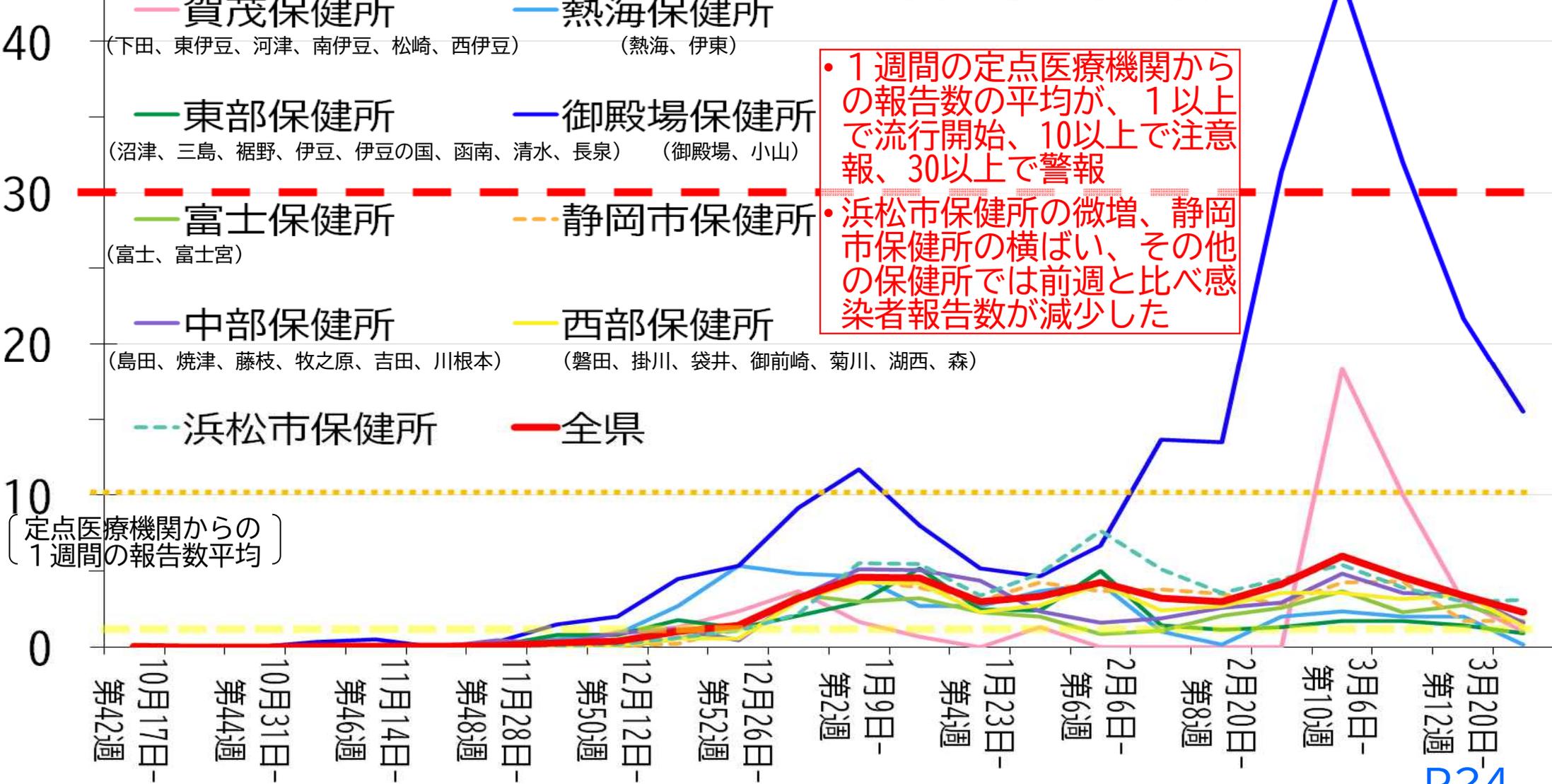
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)

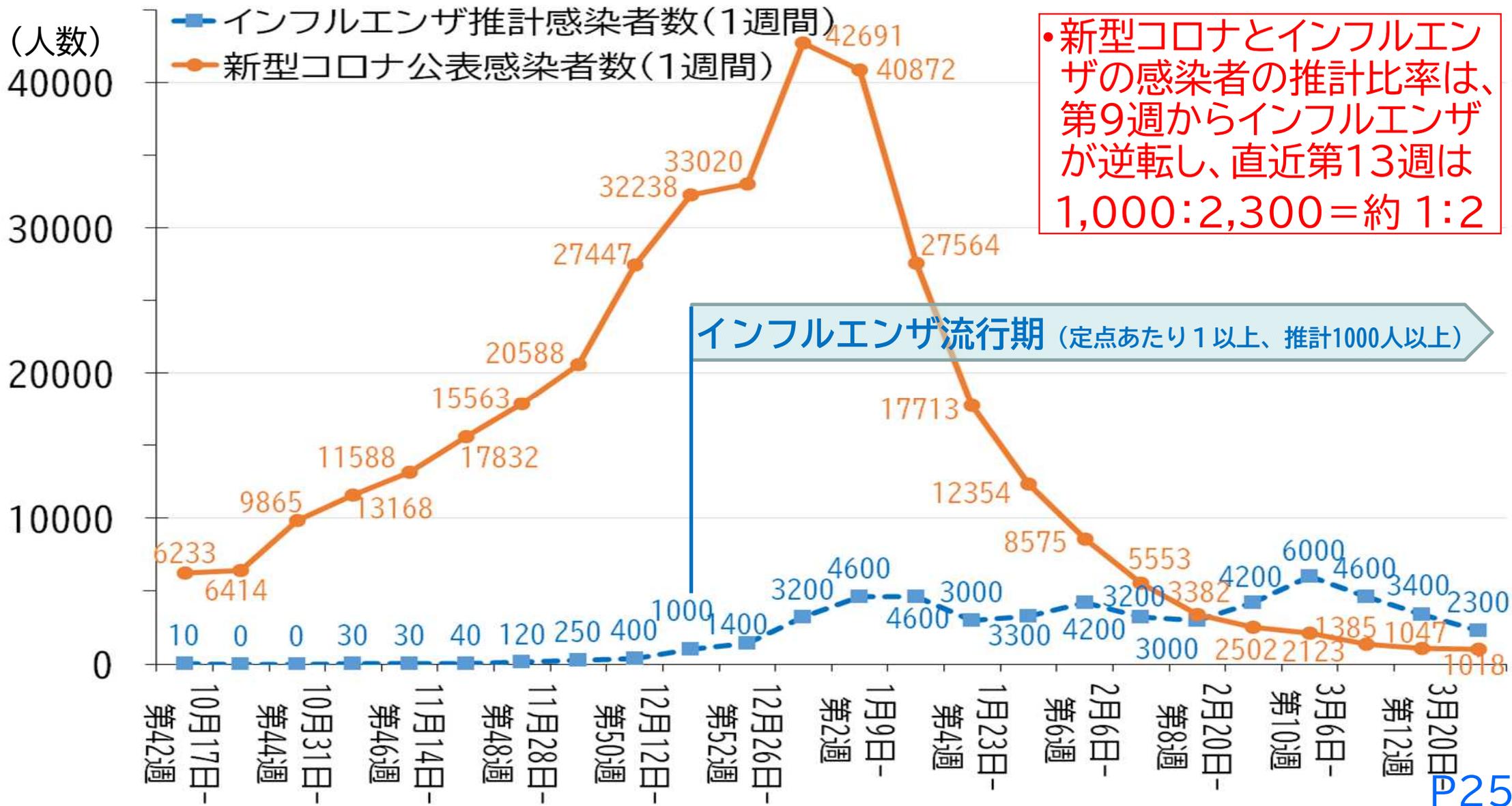


静岡県保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.10/10~2023.4/2)

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/10~2023.4/2)



● 新型コロナとインフルエンザの感染者の推計比率は、第9週からインフルエンザが逆転し、直近第13週は $1,000:2,300 = \text{約 } 1:2$

静岡県 新しい国レベル1 からレベル2 に上げる指標と目安値^{P26}

※ 前提条件； 1週間新規感染者数の前週比の1週間平均が1.0倍以上⇒3月30日～4月5日の平均値0.99倍

指標	目安値	第7波時の最高値	直近値(4月5日) [対前週増減値]	指標と目安値の考え方
① コロナ受入病院の コロナ入院者数の合計	200人	800人 (8月9日)	47人[-25] (4月5日)	<ul style="list-style-type: none"> クラスター者も含めて受入病院の全コロナ入院者で負担を評価 第7波最高値の2-3割を目安値
② 最大確保病床 使用率 $\left(= \frac{\text{確保病床入院者数}}{\text{最大確保病床数(国へ届出)}} \right)$	20% 分母911床 (2月2日～)	73.0% = 566/775 (8月27日)	6.7%[-1.5] = 47/911 (4月5日)	<ul style="list-style-type: none"> 今冬の最大確保病床数を分母とする確保病床使用率20%未満が、国の「判断に係る指標」とその目安値に適合すると考える
③ コロナ/インフル感染/ 濃厚接触による受入病 院の休職医師・看護師数	100人	630人 (7月28日)	13人[-2] (3月30日)	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値
④ 1週間の発熱外来(時 間内)の行政検査件数	1.5万件 ^(夏季) 1.8万件 ^(冬季)	42543件 (7月25-31日)	9849件 [-1825] (3月27日-4月2日)	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値
⑤ 1週間の救急搬送困難 事案の件数	20件 ^(夏季) 30件 ^(冬季)	84件 (8月1-7日)	13件[-12] (3月27日-4月2日)	<ul style="list-style-type: none"> 国の「判断に係る事象」に該当 第7波最高値の2-3割を目安値

今週の評価レベル分類と医療ひっ迫の状況

区分	県専門家会議 今週(4月7日)の判断
[1] 評価 レベル	レベル1で維持
[2] 医療 ひっ迫	コロナ受入病床は、県全体で病床使用率 10%台が続き、ひっ迫はしていません。 <u>発熱外来</u> は、ひっ迫はしていません。

マスク着用を推奨する4場面

① 医療機関
の受診時



② 医療機関や
高齢者施設
等の訪問時



③ 混雑している
電車・バス
の車内



④ 重症化リスク
のある人が、
コロナ流行時に
人混みに行く時

